（一）　昭和25年7月6日第三種郵便物認可　磐城毎日新聞　昭和25年(1950) 11月17日（金曜日）第151号【日刊・月曜休刊】

磐城毎日
社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

平衡交付金さまる

二千二百万圓市金庫え

縣下各市町村に交付される平衡交付金の二十五年分交付見込額がこの程縣當局より發表された、この發表によれば平市に對する交付額は全縣下の筆頭で二千五十五万三千円、舊神谷分には百八十六万六千円、計二千二百四十一万九千円である平市の二十五年度歳出歳入豫算には豫算編成についての政府の指示に基き漸定的に二十四年度に於ける一般配付税を基準として五百五十七万七千円を平衡交付金の歳入として計上されているので平衡交付金の歳入に於て千六百六十四万二千円増收と見たので他補助金等で多少の減額を豫想しても市の財政に一層の健全さを加える譯けである、市當局では平衡交付金の確定額の正式通牒あり次第本年度に於ける歳入歳出豫算の根本的更正案を議會に提出するが、これによつて第二、第三兩中學校の講堂新築等も實現される見透しが確實となつた

互に助け合うと

留守家族で親睦會結成

平市では引揚援護「愛の運動」の一環として來る廿日午後一時から第一小校裁ほう室で留守家族四十五世帶が集つてこれら家族が互に親睦を圖る横の連絡機關として留守家族團体の結成を行うことになつた、なお當日は縣引揚援護の係員が出席して現在迄の引揚狀況を說明し今後の方針と家族の希望を聽取することになつた

今朝薄氷もはる

赤い國の風が訪れて

昨日からめつきり底冷えして來て濱通りのあちこちにあられが降つた、四ツ倉以南は大したことはないが久ノ濱から相馬、双葉郡下は大豆程もあつたあられが降つて道路や庭先を眞白い世界に染めた、それが午後になつても消えない程寒氣が強く、十六日朝は降霜あり本年初めての薄氷がはつた、ちと寒さのくるのが早過ぎる、此のまゝ寒さが續くとは思われないが濱通りで今時氷は珍しいと古老は語つている

小名浜でも結氷

十六日朝は小名濱町にも初氷が張つた、小名濱測候所の發表によると結氷は平年より六日早く昨年より十三日おそい

〃〃〃〃〃〃

石城醫師會總會

〃〃〃〃〃〃

來る二十五日午後零時半から石城地方事務所において石城醫師會第九次臨時總會並に學術講演會を開く、演題は「結核について」講師は東京大學岡治道教授である

消却資産末申

告は係員調査

平市における消却資産の申告は既報の如く去る六日の申告期限までの申告者は見込數の約一割程度の不成績であつたので市當局は巳む得ず申告期限を十五日迄延期し趣旨の徹底を計り申告の督勵を行つたが、期限までの申告者は見込數の約七十%に達した、三十%の未申告者に對しては係員が出向き調査の上申告せしめる事となつた

。。ボールを尋ねて。。

私達の仲よしのボールが見えなくなつてしまいました朝のおあつまりになる迄私達はボールを相手に元氣よく遊びました、腕を思いきり伸ばしてボールを青空に投げれば、めがけて走るお友達は花にむらがるアリの樣、何も彼も忘れてボールと遊ぶ時の私達は姿は健康そのものです、僕達は野球選手を夢見私達は未來のバスケット選手たらんと希望は、ボールと共に天かけります、その大切なボールが失くなつてしまいました、その日は時間一ぱい遊んで鐘の音とともに一齊にお部屋に入りました、もうすでにその時はボールはありませんでした、みんなでボールちやん出ておいでと館の周りは木の根草の根をわけて迄探しました、どこにもありません、きつと朝のお遊びをしている時に遊びに來ていたよそのおにいちやんに持つてゆかれてしまつたのですそのおにいちやんはま違つてお家え持つて歸つたにしても青空に思いきりボールを投げることは出來ないでせう、ボールちやんもあたし達の手許で遊んでいた方がいゝつてきつと隣保館を戀しがつてゐると思いますおにいちやんどんぐりだつてお山を戀しいと泣くのを知つてるでせう、ボールちやんも泣いておにいちやんを困らせないうちに元のお家え歸して下さい私達は早くボールちやんが歸つて來る樣にと小さなお手々を合せてお祈りしてます、神樣はきつとこのお願いをきいて下さると思います、ボールちやんが又私達の手でボンボン空に飛ぶのをみたらおにいちやんだつて心からさつぱりすることが出來るでせうと思いますボールちやんボールちやん早く歸つて來て下さい

（隣保館中里保姆）

木炭部新設
配達迅速
水野氷室
平市大町　電話二一九九番

檢察審査會長

中洞氏に決る

平檢察審査會は十五日午前十時より地裁平支部會議室に開かれ審査員を補助事務員十一名參集の上會長互選の結果中洞一郞氏（草野村）に決定、今後審査會の方針として民意を反影させると共に制度本來の目的に添う樣積極的に活動する事になつた

二万名の集團檢診

レントゲン車結核調査に活動

縣衛生部レントゲン自動車は廿一日から郡下ツベルクリン陽性者に對し集團檢診を開始する、檢診申込みは一應十五日締切つたが日程及び申込み人員は左の通り但し平保健所では廿一日迄申込受付を延期、二百名以上申込あれば郡下いたる處にも出張することになつている

廿一日平市內（六二九）廿二日好間村（四七五）廿四日赤井（三八六）廿五日小川（二三〇）廿七四倉（五二五）廿八日大野、大浦（三三一）廿九日草野、神谷（二六五）三十日夏井、高久（二一六）十一月一日豊間、江名（四八〇）二日泉、渡邊（三六〇）四日植田（六二四）五日錦（四〇〇）六日勿來、川部（五五四）七日山田、田人（四五〇）八日上遠野、入遠野（四五八）九日磐崎（一二〇）十一日より四日間湯本（一九八〇）十五、十六日內鄕（一二六八）十八日鹿島、飯野（五〇〇）計一万二百五十一名であり二万名を突破する見込み

保管中の瓦を喰う

圖太い引揚者を逮捕

セメント瓦製造業有限會社大浦共榮合作社理事長賀澤久義（四六）＝大浦村大字上仁井田字東山一三四＝は十六日早朝横領のうたがいで平市署に逮捕された、賀澤は平市の庶民住宅建築用として縣建築課の斡旋によつて建設省より大浦共榮合作社で製造したセメント瓦約六万五千五百枚の現物割り當てを受け本年二月瓦代金として建設省に對し八十二万八千五百余圓を納入したが當時平市では庶民住宅建築に未着工であつたゝめ大浦共榮合作社の責任者である賀澤氏に瓦の數量を確認せしめ必要に應じて納入せしめる事として賀澤氏より保管證を取りこれを保管せしめたが、最近に至り庶民住宅の工事の進行と共に保管中の瓦を納入せしめた處約二万四千八百枚を納入したのみで殘りの約四万七百枚價格にして五十五万二千五百余円を如何にしても納入しないので調査したる處殘品が皆無となつている事が判明し市當局より告發されるに至つたもの

×

平市字仲間町七二木炭集荷業坂場正（三三）は十五日地裁平支部より横領罪で懲役十ヶ月（三年間執行猶豫）の判決、坂場は本年四月八日市内六丁目一共榮合作社消費組合において同組合員鯨岡利男氏より冬物女コート一枚を他に賣却方依頼を受け保管中、永戸村大字下永井輕井澤六〇藁谷二三夫方に於て坂場に對する借金二千円の擔保に差入れて横領、更に本年五月中旬前記組合において綠川三代喜氏より中古自轉車一台賣却方を依頼され代金四千五百円を木炭取引等に消費したもの

加配米横領も判明

開拓補助金費消事件

平地區署では十五日午後二時ころ石城郡小川村開拓農協組合長田久兼治（五四）を業務上横領の疑で檢擧した、同人は同村開拓者三十二名に交附された二十五年度補助金三十万圓を消費した疑いによるもので平地區署で追及中だが更に同人は小川村歸農組合に割當てられた加配米の横領などもあると言われて居り以外に進展するのではないかと注目されている

母親學級廿五

日御小校で

內鄕町御廐小學校母親學級の定例授業は來る廿五日午後一時から同校において行う、講師は磐女教諭佐々木貞子女史で榮養についての講座を行う

チンピラすり

そこねて捕る

內鄕町宮竹ノ內二七無職野崎隆（一七）は十五日午前八時十分ころ平驛待合室で平市三丁目二一食料品販賣店齋藤達夫（三〇）さんのズボン後ポケットから現金九百四十圓をスリ取ろうとして發見され驛員に捕まつた

市內一部斷水

十七日九時半から三時半迄水道切斷工事のため南町の一部鍛治町中町十五丁目の一円に亘り斷水する

農地委員事務

打合せ會

石城地方事務所では十八日午前十時から農地委員會書記四十名を參集して開拓財産賣渡事務打合せ會を行う

詐欺男に判決

石城郡錦町大字中田字落合二二無職島村榮（四〇）は十五日詐欺罪で地裁平支部より懲役十ヶ月の判決を受けた同人は本年七月十九日頃勿來驛ホーム等において同町松岡旅館內銅鉛商三成社出張員新井健司（四二）氏に對し鉛六十八貫二百匁を斡旋すると意志ないにもかゝわらず右鉛代金として一万一千円を騙取したもの

商狀、經濟欄

【鮮魚】十六日現在・卸値（單位貫）

さんま	七〇－五〇円
ひらめ	一二〇〇－六五〇円
ほうぼう	一八〇－一五〇円
のどぐろ	二五〇－二〇〇圓
いか	一三〇－八〇円
むし	三五〇－一八〇圓
やなぎ	四五〇－二〇〇円
たこ	二八〇－一五〇圓

市況－入荷少く約千五百貫人氣ヤヤ下落ち

【青果市況】丸サ市場

大根	二〇－一〇円
白菜	三〇－二〇円
油菜	一円五〇錢－八〇錢
ほうれん草（一把）	五－三円
ねぎ	七五－六〇円
同（小束）	一〇－五円
ごぼう	一一〇－六〇円
人參	一〇〇－七〇円
じやがいも	六〇－四五円
さつまいも（農林一号）	四五円
同	四〇－三五円
たるぬき	一五〇－一一〇円
みかん（半石）	四五〇－三〇〇円
りんご	一三〇－九〇円

市況－活潑入荷は約二千貫

【株式市況】磐城證券16日前場

閑散乍ら、旭硝子新光レ東邦レ等人氣株が戻したのを初め海上も小締つたが他はぼんやりである

鋼管	七〇	呉羽化	一
東洋紡	三一	苫小牧	三一
鐘紡	一三〇	十條紙	三二
日清紡	三一〇	本州紙	一三二
呉羽紡	一二八	日セメ	七七
日東紡	一二八	磐城セ	一六〇
片倉	六八	小野田	一三二
帝人	一七四	不動新	三二
東洋レ	一七九	陽和不	一七四
新光レ	四〇〇	開東不	一
山パル	三三九	三越	四〇〇
東海上	一五三	日麥酒	一九三
新郵船	一七三	朝麥酒	一九五
三井船	一三四	キリン	三〇〇
日發	三四	寶酒造	一三六
三井山	四五	野田醬	一五六
日石	七〇	豊年油	一〇七
三井造	一〇七	高壓	四八
日立	三四	日產化	五六
東北パ	二七六	日活	一三九

JOCP ローカル 郡山 JOHG

【十七日】前7時15分　池の台談話室＝郡山鐵道工場を尋ねて（錄音）＝後6時30分　縣政便り＝歸還を待つ人々え＝縣引揚援護愛の運動委員長藤卷榮作　後7時30分　最後の切り札＝リコール問題について＝縣選管連合會長藤田正介、郡山放送劇團

天氣

今晩は風弱く良い天氣ですが冷え込みが強く霜や薄氷のはる事もありましよう、明日は朝のうち北よりの風冷え込み日中は南東の風あたたかい良い天氣となりますが次第に薄雲が出始め明晩ころより曇り出し一時小雨模樣となりましよう、明後日は北西の風強まり始めはしぐれ模樣の所もありますが後次第に良くなりましよう、海上はまだ多少の風波がありますが次第におさまり明日はおだやかでしよう、明後日は季節風によりまた風波が高まつて來ましよう

拾い讀み

天ぐそろいの縣職組郡下分會對抗第一回娯樂大會はこの程午後一時から地方事務所で開かれた結果

△麻雀＝第一位松本、有田組（平土木）第二位榎內、市原組（地方事務所）

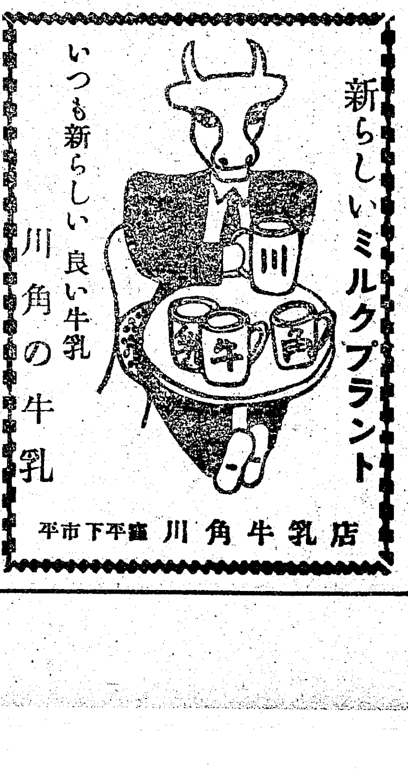
△連珠＝第一位八巻（平復興）二位但野（復興）三位四倉（地方）

△將ぎ＝一位高橋（植土木）二位霜島（小名水）三位丹野（保險）

△圍碁＝一位鈴木（保險）二位大平（保險）三位箱崎（地方）

高いお金で何故!!!
粗悪な品をお買ひになるのです!!!
あたゝかい冬仕度は優秀品を
最低値で奉仕する弊店を
是非御覧の上で………
特別のサービス期間12月31日迄
有名化粧品
定價の一割引販賣
洋品の　やまと
平市3丁目　電1130

くすり
今日も元気で
電四〇　平四
關内藥局



新らしいミルクプラント
いつも新らしい良い牛乳
川角の牛乳
平市下平窪　川角牛乳店

胃腸　外科
外科一般
整形外科
性病科
皮膚科
肛門科
松村亨
內科
胃腸科
呼吸器科
放射線科
松村鐵郎
平市南町
電一〇七
松村醫院

道路復興の寶くじ

平市一万二千本近く發賣

縣では道路の改修整備費造成のため第二回道路復興寶クジを發行する事となつたが、この寶クジ消化割り當てに關する打合せの爲平市から長谷川教育課長は十四日出張十五日歸廳した、今次の發行高は百万本（一本三十圓）金額にして三千万圓で平市に對する割り當一万二千本、金額三十六万円である、市當局では近く各區に割り當て消化する豫定である、この寶クジの發賣期間、抽籤日、賞金等は次の通りである

△發賣期間＝十一月二十日より十二月十五日まで

△抽籤日＝十二月二十日

△賞金＝特等五万円（十本）一等一万円（九十本）二等千円（四百本）三等百円（五千本）四等五十円（二万本）五等A二十円（三十万本）五等B丸型安全ナイフ（十万本）當りクジは五本に一本の割り

競輪開催の日取

明日運營委員會で決る

平市では十七日午後二時より會議室において競輪運營常任委員會を開催し競輪場工事の進渉狀況を視察上第一回競輪開催日及び競輪施行規則の改正に伴い一回の開催日數を四日制にして年十二回開催とするか或は一回の開催日數を六日制にして年八回開催とするかに就て協議決定する事となつた

ドン帳開き余興

花柳一門出演プロ決る

既報＝十八日午後一時より一般に無料公開する平市公會堂本館のドン帳開きの余興、花柳一門登柳會員出演による日本舞踊のプログラム及び出演者は次の通り

一、舌出し三番（千歳）齋藤美子（三番）鈴木敬子
一、鶴亀（鶴）花柳登代繁（主）花柳登代之（亀）花柳登美輔
一、手習子、津田夏子
一、末廣狩、石山智以子、水竹ケイ子
一、藤娘、阿部操子
一、しを汲、藤田照子
一、五郎時致、吉田彰子
△小品舞踊三題
（1）櫻かむろ、土井則子 吉田惠美子
（2）繪日傘、水竹千佳子
（3）おてもやん、菊地永子、加藤三恵
一、秋の色種、瀧川惠子、鈴木敬子、齋藤美子
一、越後獅子、石山佳代子 菊地弘子
一、大原女（大原女）大和田登志子（奴）勅使河原久子
一、橋辨慶（辨慶）齋藤明子（牛若丸）伊藤公子
一、浦島、花柳登代晴
一、老松、花柳登代藏
△補導花柳登代藏、長唄杵屋十茂代社中、鳴物望月左三郎社中

青色申告者の薄記講習會

平税務署及び平商工會議所では本年度青色申告者（個人）二百四十名及び明年度申告希望者に對して來る二十六日より薄記講習會を開く日程及び講師は左の通り

廿一、廿二日四倉小學校（税務代理桑原徹氏）湯本町役場（經理士宮澤勝三氏）廿三、廿四日植田小學校（税務代理士酒井清之助氏）小名濱アグリ組合事務所（計理士渡邊清匡氏）廿四、廿五日平商業組合事務所（平商教諭松崎友文氏）

町村税務主任打合せ會

平税務署では來る十七日午前九時より湯本町役場において市町村税務主任打合會を開き本月末締切の農業修正豫定申告について啓蒙方法を協議する

銀行前ですられる

好間村大字北好間字源平地六九高橋作太郎（五九）さんは十五日午前十一時頃七十七銀行平支店前で現金二千九百十円入財布をすられた

緊急警備の訓練

郡南地區警察で行う

植田地區、同町、勿來、錦の舊菊田方部警察署では十六日午前十時から勿來町第二小學校において緊急警備けん銃操作など連合警備訓練を行い後に各署對抗野球大會を行つた

乱暴靴屋中學生をなぐる

錦町大字中田靴修理業菊地實（四八）は十三日正午ころ同字地内路上で靴修理中通りかゝつた同町中學校二年生鳴五郎（一五）さんの頭部を金槌でなぐり全治一週間の傷を負わした、原因は過日五郎が菊地の四女正子（一四）＝平中學一年生＝の通信箋を取り返して見たことから家の娘に恥をかゝしたとうらんでいたもので子供の喧かに親が出た譯

新たに發見された陶窯址を視察して

好間第二小校 檜野照武

大陸の製陶技術の影響を受けて發達した高い火度で穴窯で焼き、然もロクロを使用して整齊な形とし色も青灰色、灰鼠色、稀には白みがゝつたもの、折には窯の中で醱化焔のまわつた爲に赤褐色をなす極めて堅い土器である

ウワ薬も初期のものは後世の陶器のように塗つたものではないが、一部に自然の吹出しのウワのこん跡が認められるものとあり、後期になり平窯に移行する頃になるとウワ薬をかけたものも發見される

紋様は通常その器面は無文であるが、他に重圏、波線等を帯狀に廻らし或は円形三角形等を配したのもある稀に「窯印」という外表面に簡單な符号を付けたのも發見される、形式を分類するならば大体盤、杯、コソ、ツボ、ミカ、瓶、ハサク、平瓶、提瓶、横かめ、異形彩色の十二となる

この種の容器を須惠器というのはわが國の陶部の製作にかゝたものと認められる祝部というのは古典にあるイワレベ又はイムベから轉化し、祭祀等に用いた爲の名稱である、又直接朝鮮の系統に由來する所から朝鮮土器とも云われるかその系統をみちびくならば南鮮の古境から發見される新羅燒土器、又は百濟の土器、支那にあつては漢代より六軸に亙る期間の土器である

我が國古境文化時代の工業遺跡としての窯業の研究、（土器、埴輪）は飛鳥、奈良朝の佛教考古學の一基礎となる、瓦窯址の調査研究と共に「未だ」の憾を深くする私は窯趾發見を全國的に期待して已まない（終り）

反共の自由勞組

好間村でも新たに結成

さきに平市の自由勞働組合は反共派を以つて厚生自由勞組を結成したが今度は勞働攻勢その他に活潑な活動を見せてゐた好間村自由勞働組合も解散して共産系を排し新組合も結成した、新組合長高橋正一、副組合長西倉恒彦、書記諏訪俊夫氏に決定した

好間鑛にまた落盤

十五日午前八時半ころ好間村古河好間炭鑛縱坑で落盤坑內で作業中の支柱夫金古庄吉（三三）さんは岩盤の下敷になり左足に全治二ケ月の重傷を負つた

無燈火常習勿來署で檢擧

勿來町大字酒井井出倉第五炭鑛社宅無職加藤正一（三〇）は無燈火常習で十日勿來町署に檢擧された同町署では最近交通週間などによる取締りの強化にもかゝわずら

炭礦街中學野球

常磐地區炭鑛地帯中學校野球大會は十九日午前九時から湯本淺貝球場で行う、第一試合內郷二中ー磐崎中、第二試合常磐中ー內鄕一中、第三試合は一、二試合の勝者、第四試合湯本中ー第三試合の勝者

盜んだ自轉車轉賣

茨城縣多賀郡南中鄕藤田ナオ方人夫笠原秀吉（四三）は去る四月下旬ころ勿來町地內住所不定渡邊忠三が盜んだ中古品自轉車一台を盜品と知りながら他人に二千圓で賣りさばいたことが判り十三日勿來町署に逮捕され十六日書類送檢された

送電線盜む

十三日夜石城郡湯本町上淺貝地內に架設中の常磐炭鑛湯本礦送電線約八十米が盜まれた、湯本町署で犯人追及中

局の窓口に暮迫る

早くも年賀はがき賣始め

平局では昨十五日からお年玉つき年賀郵便はがきの賣出しを開始した、本年の割當は三十九万八千枚となつているが初日の昨日は七千七百十枚で發賣早々の賣れゆき良こうに局員も喜んでいる、意氣込んだ當局の宣傳もきいてゐるし商賣上手な御利益が充分あつてかこの分でゆくと割當ての追加も可能ではないかと語つてゐる

〃〃〃〃 溺死体身許判る 〃〃〃〃

既報＝双葉郡久の濱町前磯海岸に漂着した身元不明の溺死体は町署で調査中のところ十五日双葉郡龍田村大字大谷字堤下無職井上生之（七〇）さんと判明した、同人は去る二日久の濱の親戚に來て海に行つて來るからと言つて出たきり歸らなかつたもので誤つて海に落ちたものと見られる

職場に若き女性を訪ねて

— 市立第五小學校 —

黑川怜子（一七）さん 今年五月市內第五小學校に給仕として勤務して以來、その實直な務務め振りは校內の評判 兒童達からはお姉さんのように慕れている怜子さんは滿洲で育つたが幼なくして母を失い、戰後父と弟の三人で鄉里永戶村に引揚げむつまじい生活を續けていたが、れい子さんが磐女二年生のとき父親の身体的缺かんを生じた事から勉學を斷念、磐女を中退、弟增夫（平工一年生）だけは父が働けなくなつても私の力で何とか一人前の社會人に育て上げなければと、けなげな覺悟を秘め燃える様な向學心をおさえ現職場に飛び込んだもので聞く人々の感銘を呼んでいる、現在は弟と共に第五小學校の一隅に起居、少ない給料で二人の生活を送つている

今後も夜學、通信教育などに依つて勉強し高校卒業の資格を得たいと思います、またどんな事があつても弟だけは立派な社會人にしたいと思つています、と彼女は心強く語つている

おつとりと、そして強固な意志の持主、大陸の風に薰陶されたれい子ちやんよ、強く今の信念を忘れず正しき者えの神の報えを忘れずにあせらず人生の行路を弟を勵して進む事を祈つてやまない

望

去る八日行われた平市上水道問題について野崎荻原氏等鎌田山水道計畫反對派と市議會特別調查委員との會談の際腹の探り合いの感があつて最後の切り札を出すまでに至らなかつた結果種々の憶測が行はれ甚だしきは「好間江筋組合との間に四三箇の取水契約のなかことは明かにされたが市議側が現上水道に對する調査不充分であつて現在の送水能力が四、三箇の送水能力があるにも拘らず取水の增量について何等の努力も拂わず市當局の計畫を鵜呑みにした事は極めて怠慢であつた」と論難している向もあるようであるが輕卒も甚だしいと言わざるを得ない、現在の送水管は四、三箇の送水し得るだけの太さがある事は事實であるが單に送水管の太さだけで取水の增量が出來ない事は如何なる素人でも判斷し得る問題である、この問題に就ては先般双方會談の席えを立派に裏書している即ち野崎氏は「昭和七年に完成した現上水道擴張工事に際して好間川の本流から取水する設備をして置けば現在の如き問題は起らなかつたのであるが當時本流から取水する設備をするには約七万円の工事費の增額を必要としたもので當時の七万円は莫大な額で平町の財政としては到底望めなかつたので已むを得ず現在の如く江筋より取水する設備を行つたものである」云々と述べ自ら語るに落ちた恰こうではあつたが昭和の初年に於ける三十七万円の水道擴張工事豫算に更らに七万円の追加豫算を計上する事は現在の貨幣價値に換算

事情已むを得なかつた事をうなづけよう從つて今好間川本流から取水する設備をするとすれば相當の經費を伴い更に沈澱池、ろ過池、配水池等の增設をも必要であり莫大な經費を要する事は論を俟たない、しかもよし間川の水利權問題は容易に解決し得るものではなく絕對不可能視されている事はよし間川の現水量を一見すれば贅言を要しない問題である

17日より20日まで
—（愈々本興行）—
戰後の混濁に奔弄される青春！
フランス解放の烽火!!!
乱脈時代の激流の只中に生き抜く若い男女の愛慾現代縮圖！
佛映 情婦マノン
監督 アンリ・クルウゾオ
十八才の新妖星セシル、オーブリ初登場
平館

自慢 牛豚肉 本場
迅速配達
第一綠屋 電539
第二綠屋 電794

紙袋 各種卸します
サンキユー
佐々木商店
平市鍛冶町電（呼）五〇三番

各種ストーブ大特売
1950年新型
センオーストーブ
二号型 3900円
三号型 4300円
三ツ星貯炭ストーブ 2800円
ダルマストーブ 1300円
今年ノ逸品薪ストーブ
マルタストーブ 大3800円 小2000円
平和式オガ屑ストーブ改良型 2800円
平市二丁目 叶多金物店 電話 九三

勤勞者の福音
皆様待望の月賦販賣！
毎月僅かの掛金で皆様の生活必需品が當社セール部加盟店より御買求めになれます
營業種目
自轉車、ミシン、家具類
布團、時計、衣類、服生地
洋品類、靴、ラヂオ其他
詳細は本社に御問合せ下さい
平市三丁目（東平物産二階）
東北街頭宣傳 株式會社

大衆食堂
サービス
味の点
量の点
三拍子そろつた
皆様の食堂
さかえ
平驛前東角